

会 議 録

会 議 の 名 称	平成21年度 第2回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成21年11月5日(木) 午後1時30分～4時15分
開 催 場 所	岩城会館 日本海の間
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
【会議次第】 1. 委嘱状交付(猿田理事より高野弘美氏へ交付) 2. 開 会 3. 会長・理事あいさつ 4. 報告案件 ・ 小学校の統合等に関する状況について〔報告者：斎藤教育委員会主幹〕 (質疑応答) ・ 由利本荘市定住自立圏構想について〔報告者：鈴木岩城総合支所長〕 (質疑応答) 5. 説明・協議案件 ・ 地域づくり推進事業について〔説明者：渡部主幹兼振興課長〕 (質疑応答) 6. その他 ・ 桜の植栽並びに地域懇談会の日程について〔説明者：渡部主幹兼振興課長〕 7. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿(敬称略)

(委員:23名、他18名)

(委員)	(来賓)	(事務局)
会 長 川上幸一	市議会議員 渡部専一	振興課課長補佐 大竹 晃
副会長 今野久志	市議会議員 湊 貴信	振興課主査 高山淳一
委 員 田口長美	(本庁)	振興課主事 佐林祐輔
委 員 長谷部保夫	理事 猿田正好	振興課主事 安藤 謙
委 員 堀井恭一	教育委員会主幹 斎藤忠廣	
委 員 佐々木力ネヨ	(岩城総合支所)	
委 員 進藤正恵	総合支所長 鈴木幸治	
委 員 高野弘美	政策監 今野五雄	
委 員 今野正樹	主幹兼振興課長 渡部 進	
委 員 金森巳嗣	主幹兼教学課長 堀井幸二	
委 員 佐々木裕三	市民課長 打矢郁良	
委 員 三浦 稔	福祉保健課長 嶽石文弥	
委 員 伊藤文治	産業課長 伊藤尚武	
委 員 皆川敦子	建設課長 渡部 昭	
委 員 進藤敏和	亀田美術館長 岸野芳夫	
委 員 早川あけみ	亀田出張所長 渡辺 彰	
委 員 菊地喜世子		
委 員 堀井ヤス子		
委 員 須田まり子		
委 員 前川 侑		
委 員 堀井盛男		
委 員 菅野芳男		
委 員 高橋 修		

【欠席者】 佐々木秀司委員、阿部一雄委員、黒川眞澄委員、今野淳一委員、三浦恵美子委員、渡部秋美委員、佐々木勝美委員 (7名)

会議の経過

平成21年度第2回 岩城地域協議会

平成21年11月5日(木)

午後1時30分 開会

【委嘱状交付】

- ・桐生歳雄委員の辞職に伴い、高野弘美氏に猿田理事より委嘱状を交付する

【来賓紹介・あいさつ】

- ・渡部専一市議会議員と湊貴信市議会議員を紹介、あいさつを頂戴する

【会長・理事あいさつ】

- ・川上幸一会長並びに猿田理事よりあいさつ

【報告案件】

- ・下記案件を報告

(1) 小学校の統合等に関する状況について〔報告者：斎藤教育委員会主幹〕

(2) 由利本荘市定住自立圏構想について〔報告者：鈴木岩城総合支所長〕

※それぞれについて、質疑応答を行う。

(1) 小学校の統合等に関する状況について

◇ 議長

ただ今、報告のありました“小学校の統合等に関する状況”に関しまして、ご質問・ご意見・ご提言を承りたいと存じます。発言される際は挙手願います。どなたかございませんか。

○ A 委員

資料の5頁に市内小学校の規模等の備考欄に亀小・道小が要耐震化と書かれておりますけれども一方に於いては3頁に亀田保育園の保護者の意見として耐震補強していただきたい云々というのがありますよね。それで、もともと3校を統合して耐震化をクリアした学校を建てるというのが構想だろうと思うけれども、国の方では耐震化については緊急のやるべきことだということでそれなりの財源を付していると、そして1日も早く、こういう地震がきたとき子どもたちに被害を与えないような環境づくりを第一にやらなければならないというのが言われております。それで、平成26年の開校までは亀小・道小については、耐震化についてはいっさい構わないと、こういうことでいいんですか？

● 斎藤主幹

耐震化については、ご案内のとおり昭和56年以前の学校については耐震化を図らなければならないということになっております。両小学校についてはもう既にかなり経過しておりますのでやはり耐震化の対象にはなると、ただ、統廃合というふうに新しい学校を建てるという計画もございますが、やはり出来るまで4～5年という期間がかかるものですから、その間の大きな地震が来た場合の子どもたちの安全を考えた場合に、やはり耐震化・耐震診断をする必要があるのではないかということで、今年度予算が付きまして、両小学校の校舎を診断しております。その内容によっては耐震補強工事も考えられますが、新しい学校を建てるという計画でございますので、補強工事でなく、もし仮に大きな地震が来た場合に倒壊の恐れがあるという数値が出た場合は、速やかに避難対策を講じて参りたいと考えているところでございます。まだ結果については後日ということになりますが、そのように考えております。(いつ頃結果が分かるかという声に)来年の2月か3月頃だと思います。

◇ 議長

今日のところは進捗状況の報告ということで、皆さんも様々な思いがあろうかと思いますが、この後予定されている地域懇談会等でも説明されるということですので、委員の皆さんも各地域に戻られましたら、地域や周りの皆さんと話し合ってください、様々な意見や声をお聞かせいただけるようお願いいたします。地域協議会としても、この地域の重要な問題ですので、この後も話し合いを続けて参りたいと思います。今日のところはこの辺で終わりにしたいと思います。

(2) 由利本荘市定住自立圏構想について

◇ 議長

ただ今、報告のありました“由利本荘市定住自立圏構想”に関しまして、ご質問・ご意見・ご提言を承りたいと存じます。発言される際は挙手願います。どなたかございませんか。

○ B 委員

ただ今の説明の内容は議会で承認をいただいたことですが追加ということは出来ませんか？

● 鈴木支所長

項目の追加ということは、市議会の決定・承認を頂いておりますので基本的には出来ないということになろうかと思いますが、この後、共生ビジョンというものを策定して参ります。それは、具体的な事

業を、どういった事業をこの定住自立圏構想の中で取り組んでいくのかということになりますので、それと関連づけた形で事業として加えこむ、入れこんでいくということは可能性はあろうかと思います。ただ、全くここに掲げられているものと関連づけの無いものについては基本的には出来ないということになろうかと思います。

○ B 委員

分かりました。続けて意見ですけれども、今、修正になったり追加になったものについては十分理解しましたけれども、民俗芸能関係についてです、資料の6頁ですが、岩城地域の役割ということで、亀田大神楽保存会・富田獅子舞保存会とありますが、この中に、亀田地区で刻参りが明治時代から続いていて、これからも継承していきたいと考えております。文化財保護でも奨励賞をいただいているということをつけ加えて意見としたいと思います。

● 鈴木支所長

この二つの他にも、岩城地域の各集落・各町内などにいろいろな伝統芸能があります。例えば君ケ野の餅つき舞ですとか、道川の百姓踊りですとか、ああいうものは残して伝えていくべきものだと思います。ここには載っていませんがそういう分野としての取り組みは可能だと思いますので、伝統芸能等文化財の保護についてはきっちりと捉まえていくべきものだと考えておりますので。

○ C 委員

9頁のケーブルテレビを活用した独自教育番組の制作というのは、教育現場の方からの要請があって、たいへんな希望があってこういう項目を設けたのかということと、各学校にはケーブルテレビが入っているのかということ、市全体でケーブルテレビがどの程度各家々に入っているのかという現状について質問です。

● 鈴木支所長

番組制作については、主として、せっかく整備したケーブルテレビでありますので、いかにして有効に活用して、市民の皆様に良い情報を提供できるかという中でこういった講座番組制作というものも考えたわけであります。多分、特別このことについて要請があって取り組んだというものではないと思います。市内の学校については全てケーブルテレビを視聴できるように接続しておりますし、併せて地域イントラネットというケーブルテレビとは別のより高度に利用出来るシステムを、ネットワークを組んでおりますので、例えば学校間でテレビ画面を通したやりとりができるような仕組みが出来ておりますから、学校については使えるということであります。ケーブルテレビの加入状況であります、一般家庭についての10月31日現在の加入率は52.66%となっております。これは20年度までの整備区域についての加入状況でありまして、今進められております21年度の整備区域についてはまだ把握しておりません。(随分なお金がかかっていますよねという声があり)おっしゃるとおり大変なお金がかけております、であるが故に、いかにして有効に使うかということがこれからの大きな課題であります。そのためにテレビとしてだけではなく、災害をはじめとした情報伝達の手段としてこれを十分に活用していくことが大きな課題であると考えております。また、テレビの番組にいたしましても、言葉ではそれぞれの各地域の特徴・特色あるイベント等を放映するというのでやっておりますけれども、もう一つは出来れば中継を交えた放送をやりたいという考え方もあるようでありますので、そういう点については事あるごとに番組の放送内容の充実ということを担当部署の方に申し伝えて

いるところでありますので、皆様方からもこういった番組をこういうふうにやってみたらいいんじゃないかというようなご意見・ご希望がございましたら遠慮なく我々に伝えてご指導していただければと思いますので宜しくお願いします。

◇ 議長

この形成方針については、この後、審議会等において共生ビジョンが策定されていくということでありますので、いずれ具体的に煮詰められたものが出てくるものだと思いますが、今日のところは説明の内容をご理解いただいたということで、この定住自立圏についてはこれで終りたいと思います。

【説明・協議案件】

(1) 地域づくり推進事業について〔説明者：渡部主幹兼振興課長〕

(協議概要)

◇ 議長

ただ今の説明のありました“地域づくり推進事業”に関しまして、ご質問・ご意見・ご提言を承りたいと存じます。どなたかございませんか。

○ D 委員（※これまで携わられたイベント等についての参考資料を提供していただく）

先だって、日沿道の高速にのったら、にかほから岩城まで一気に突き抜けてしまって、岩城がただ通り過ぎるだけの地域になってしまって、ますます岩城が静かな地域になってしまった印象がありますそこで、まず考えたのが、定期的に道の駅とか道川漁港、天鷲郷を拠点としてイベントを行うことで岩城に来てくれる人が定着するのではないかという考えの下にこういったイベントを考えました。まず一つ目は、ふれあい港まつりでもやっていますがフリーマーケットをオンシーズンに毎月定期にやったらいいんじゃないかということです。ふれあい広場をいっぱい県南最大規模のフリーマーケットを売り出せば人がどんどん集まってくるんじゃないかと、またそれと併行して、県内のストリートミュージシャンやアマチュアバンドの発表の場という形で場所を提供してフリーマーケットに色づけしていけばいいんじゃないかという内容です。まず人に来てもらうということが大前提のお話です。それから②の100人対100人海のもの山のもの大綱引きですが、海に面した5地域と海の無い山の5地域が綱引きをして、海の方が勝てば大漁で、山の方が勝てば豊作みたいなみんなが楽しめるようなイベントが出来ればそれぞれの地域間交流も図れるのではないかなというようにも考えました。そのほかに、ペットボトルロケット選手権だとか、道川漁港の中で夜通しでとか、2～3日間に亘って野外ライブをやれたらこの地域が活気づくのではないかと考えました。天鷲郷を拠点としたイベントについては、冬場になかなかお客さんが少なくなるということなので、例えば雪上でゲタを履いての綱引きをやったらどうか、また、天鷲郷を散策してもらっての川柳大会をやったらどうか等々、そういったイベントを通してこの岩城地域を賑やかにしていければという思いでこの資料を作りました。イベントのほかに地域活性化勉強会を年に2～3回やっていって、地域住民の地域活性化への意識高揚を図ること

も必要なのではないかと思い盛り込んであります。『岩城を賑やかにする会』と書いてありますが、まだ設立していません。これから会員を募集して、これが全てではなくて、こういった会に加わってもらって、みんなでどうしたら岩城を賑やかに出来るかを考えながらやっていきたいと思っています。

◇ 議長

ただ今の D 委員さんの提言は提案書にまとめあげて提出していただきたいと思います。この他にも、旧来、この岩城地域で続けてきたもので、厳しい財政状況の中で先行きが不透明なもの、危ういものが幾つかあります。皆さんも経緯はよくご存知かと思いますが、いわき市との中学生の交流。これ、試算された金額からすると 70～80 万円くらいかかるみたいですが、現実的な形として 20 万円程度を例えばこの地域づくりの推進事業から採択されて拠出来れば子どもたちの交流が出来るんじゃないかと思いますが、海の子山の子の東成瀬との交流、そういう学校に関しての従来からあって子どもたちが交流を通して、今でも仲間づくり・手紙のやりとり・情報の交換などをやっているという、一つの交流が後々まで心のつながりとして広まっているという状況・事実があるわけです。一つの事業に何百万円をかけるという形もあるでしょうけれども、こういった小さい少しの補助があればずっと継続出来て地域の財産となり得る事業というのがあります。これは一つの例ですが、皆さんの思いの中にも身につまされていることがあるんじゃないかと思いますが、そういったことを挙げていただけたらいいんじゃないかと思います。

○ C 委員

市長さんが代わって、地域を賑わすためのお金を使えるようになったことは大変素晴らしいことです。今までは苦情や不満ばかりの会議でしたけれども、みんなで地域を賑やかにしていこうというこういった事業を打ち出されたということは大変歓迎すべきだと思いますし、大変うれしく思います。亀田地域については天鷲遊園が取り壊されて廃園になるということで、これは涙を吞んで認めたわけですが、亀田地区には高城城址公園の周辺に亀田城佐藤八十八美術館あり、惣助亭・深山軒あり、それから千宗室さんが作ってくれた(考えてくれた)お茶室など他には何処にも無いような素晴らしい施設がありますし、そういった施設を使って、例えばお茶であれば秋田県内でもいろいろな流派の人もおりますので、そういう大きな事業などもやりたいものだなあ、婦人会としては単独で野点の会というものを 2～3 年に亘って計画しているんですけども、天候に左右されるなどの心配もあってどうしても単独で実行するには至らないという状況ですが、大きなお茶会など岩城地域の施設を使ってやりたいものだなあと思いますし、由利本荘市全体のお茶を愛する人たちにもいい機会になるんじゃないかなあと思うんですけども、そういった計画をたてる場合に、提案書には、事業名には例えば由利本荘市お茶会、事業主体となれば亀田婦人会とでもなるのでしょうか？そういった婦人会単独の事業であれば総合支所での審査の段階で却下される可能性があるのか？、提案する場合に事業主体がどの程度の規模で提案するとうまくいくものなのでしょうか。

● 渡部主幹兼振興課長

大変素晴らしい提案だと思います。市民茶会といいますか、全市を対象にした、岩城地域だけじゃない、みんなでお茶を楽しもうという新しいイベントといいますか、天鷲郷関連施設を使ったイベントとしては素晴らしいと思います。こういうふうなものについては、基本的には補助事業として考えておりま

すので、亀田婦人会であればそれで構わないかと思います。当然、これは施設からのバックアップ、事業のバックアップ、協力していかないと大きなイベントは難しいと思いますので、ただ、主体としては、例えば主催は亀田婦人会、協賛が由利本荘市・教育委員会といったような形で組んでいければ可能ではないかと思います。

○ C 委員

そうすれば事業内容として、例えば、お茶会をやる時には美術館の展示はこういう内容のものをやってお互いに連携して、お茶室広場ではお茶会や野点をやるとかといった場合に婦人会単独では無理があるので、事業内容にそういったことやりたいといったことを書けば総合支所の方で汲んで拾ってくれるんですか？

◇ 議長

そういうことです。

● 渡部主幹兼振興課長

一番やりやすのは実行委員会、これが一番良いと思います。例えば今もやっておりますが、旧藩祭にしても昨年から実行委員会という形で市の方で補助を出しておりますし、港まつりにしても実行委員会と各種団体がみんなで協力しながらやっているということでありまして、取り組みやすいのは、例えば“市民茶会実行委員会”というような形で組織を立ち上げてやられたら、今おっしゃられたように、例えば、茶会の時には亀田城ではこういう催し物、天鷲村ではこういう催し物、園内では赤い緋毛氈を敷いて盛り上げようとか、そういったものが各それぞれの実行委員さんのご協力を得ながら可能になっていくと思いますので、実行委員会を立ち上げるのが一番理想的ではないかなと思います。

○ C 委員

そうすれば、何れ提案の前に振興課長さんに相談いたしまして、実行委員会の立ち上げ方からご指導を仰ぎたいと思いますので、その節は宜しく願いいたします。

◇ 議長

いずれ提案された段階でいろいろな助言ないしはアドバイスもあろうかと思いますが、非常に面白い、大きな項目だと思いますので。

○ C 委員

これの発想は、道川はどんどんみなと駅も出来て、役場もあってすばらしく賑やかなんですけども、亀田はすっかり寂れてしまって人っこの人通らないような感じなので、じゃあどうすれば良いかと考えた時に、千宗室さんが作ってくださったお茶室のオープニングの時に、裏千家の人たちが、お偉い方の講演もありましたけれども、皆さんがとっておきの和服姿で何百人も集まって圧倒されたんですよ。ああいう賑やかさを再現したいなあ、遊園は無くなった、子どももいないといった状況の中で、じゃあ何があるのかというと、残ったものは建物しかないんですよ。だったら、その建物を使って「人よ、来い、来い、来い！」ということをすれば少しは賑やかになるんじゃないかなあという、半ば哀れな発想なんですよ。

◇ 議長

いやいや、哀れだなんてとんでもないですよ。地域づくり推進事業にはもってこいの項目じゃないですか。どうぞ、ご提案を宜しく願います。

○ E 委員

私も昨年度まで地域協議会でいろいろな協議をやってまいりましたけれども、その中で、昨年3回くらいやったでしょうか、“岩城地域における観光振興について”市に対して岩城地域の観光振興についていろいろと提案した経緯があります。この会はその議論は終わったからどうでも良い、そういうことにはならないだろうと思います。やはり、あの時議論したいろいろなことを、終には要望書にまでまとめ上げて出してあります。もう委員が代わったから良いだろう、もう昔のことだから良いだろうということではないと思います。ですから、もう少し、あの時のことを思い起こして、どういう意見が出たのか、どういうことだったのかということをもう一回考えてみてもいいんじゃないかなと思いますが、当局側はどう思いますか。

● 鈴木支所長

意見書については重く受け止めておりますし、市長の方からも回答を頂いております。ただ、観光というのは非常に難しいんですけれども、いかにしてこの岩城地域を元気にしていくか、これは取りも直さず多くの人に来ていただけるようにするかということ、今 C 委員さんがおっしゃられたとおりだと思います。我々も、何が、どういうことをやれば受け入れてもらえるのかを真剣に考えているつもりであります。三セクの皆さんともいろいろと相談をしながら、何か施設を利用したイベント、従来やってきたそのままのイベントということではなくて、時代にあった新しい何かがないかということでもいろいろと研究しています。また、港を使ったイベントにしても、今まで行ったことのないようなイベントを創り出していきたいということで、そちらの関係者の方々とも話し合いをしながらやっておりますので、我々としては、皆さんから頂いた意見書については重く受け留めながら、一つでも二つでも観光要素を掘り起こしていきたいと考えておりますので、皆さんからもいろいろな面でのご意見・ご提言をいただければ大変有り難いと考えておりますので、宜しく願います。

○ E 委員

ですから、あの時出された諸々の意見というものを今一度考えてみて、あの中でやれるものは、この事業に一つでも二つでも組み入れてやっていくということもどうだろうかと私は思います。300万円という限られた予算の中でどういうことが出来るかこれから検討していくことになるんだろうと思いますけど、今いろいろと言われたように、亀田の街は人っこない通らないように寂れた状況になっているわけなんですけれども、どうしたらもう少しは賑やかな街に出来るのかということをもっと真剣に考えなければならぬと思います。また、会長さんが言われた、いわき市との交流、海の子山の子交流事業も復活させてはどうかというような提言でありましたけれども、それも結構ではないかなと思います。いろいろとやりたいことは沢山あると思うんだけど、コレもやりたいアレもやりたいと欲張っても半らまちなってしまってもいけないので、これからじっくり考えていかなければと思います。

◇ 議長

アレもやりたいコレもやりたいということでも出していただければ、アレもやりますコレもやりますとい
うところまでいくかもしれませんので、まずはどんどん出していただきたいと思います。

○ F 委員

先ほど C 委員さんがおっしゃったことは、私もずっと思っていたことなんですけれども、亀田の方はハ
コものはいっぱいあるし、惣助亭などのお茶関係のものや桜の木などいっぱいありますが、道川の
方は賑わっていると言えども癒される場所が無いといつも思っています。以前、赤平の方に桜の苗木
を植えに行った時にも、亀田の方にはこんなにいっぱい桜の木があるのに、道川の方に来ますとそう
いう癒される場所がほとんど、お花とか桜とかある場所があまりない無いです。パークゴルフとかでい
っぱい人が来ますけれども、あそこら辺をちょっと整備していただいて、お花を植えたり、芝生を整備
したりして、お弁当を拡げたり、気軽に散策出来るような場所にしてもらえたらいいなあ皆さんそう言
っています、道川の方は。亀田の方は閑古鳥が鳴いて人が居なくて悩んでいるということですが、でも
本当にやりがいはあるんじゃないかと思っています。お茶室一つにしても、美術館の周辺を巡って歩く
と本当に癒されて「イイなあ」って感じています。道川の方もただうるさいだけじゃなくて、これからはお
年寄りも増えてきますから、ベンチに腰掛けてゆっくりお花でも眺めてゆっくり出来るような、あまりお
金をかけなくてもゆっくりくつろげるような場所を作ってもらいたいと思います。海の子山の子交流
は、私も娘が参加して思い出深い事業ですが、いきなり東成瀬のお子さんが溺れて亡くなってしまっ
て、それでもこれまで続けられたことで、すごく良い心の思い出づくりになっているんだなあと思いま
す。ぜひ 300 万円の中から出してあげてもいいんじゃないかなあと思います。

● 鈴木支所長

桜の植樹については、マップなども作りまして市では“桜満開のまちづくり”ということで、その中で
植える場所についてはいろいろと原案もありますけれども、その中で考えてまいりたいと存じますので
ご理解を賜りますようお願いいたします。憩いの場については当然必要なものだと思いますが、た
だ、亀田にあるから道川にもというようなことになると二重にあるということにもなりますので、それぞ
れを行ったり来たりという交流ということが大事になるのではないかな、そのためには今後高齢化が
いっそう進むことによって足の問題も出てきますので、コミュニティバスなどのいわゆる地域公共交通
の整備ということもきちんと念頭に入れた形でやっていかなければいけない。それこそ、定住自立圏
構想の中の範疇だと考えています。繰り返しますが、行ったり来たりの交流の中で人と人との交流の
輪ができ、地区を超えた一体感ができ、より良い生活環境ができていくのだと思いますので、そこら辺
についてもご理解を賜りますようお願いいたします。ただ今頂きましたご提言については私ども十分
考えてまいりたいと思います。

◇ 議長

E 委員さんから提言のありました、I 期目の地域協議会でまとめあげました“岩城地域の観光振興
について”は意見書として市に提出され、市からもそれに対する回答があり、その中で岩城地域は
北の玄関口であるとの位置づけが明記されたとの報告もありましたので、この観光振興についての
考え方と今回の地域づくり推進事業の関わり、兼ね合いについて、せっかく猿田理事さんにお
こしいただいておりますので、猿田理事さんからお考えをお話しいただきたいと思います。

● 猿田理事

前回の協議会の際にも、G 委員さんから「岩城地域の観光振興について、市に対して意見書を提出し、確かにペーパーで回答書はいただいているけれども、紙が紙で終わってしまったのでは困るんだ」と言われたのを肝に銘じております。ですから、今回の地域づくり推進事業の関連という形でゴリ押しするわけではないんですけれども、イベント等々の積み上げというものは一過性のものであっても困るし、一発やって成果が末代までも続くというようなことはあり得ないですから、そこら辺を十分に皆さん方がこの地域に根ざして将来パワーとなるようなものの蓄積の第一歩が出来るような形の足跡をまず皆さん方に提言していただきたいなということでもあります。で、この地域というのはどうしても観光施設がメインとなるものですから、その観光施設の寂れた部分・補修が必要な部分についてはどのように手当をするんだという話になると思うんですが、それは正直申して私がいついつ何時こうしますというようなことを、市長ではありませんので、お答えできる立場にはありませんけれども、残念ながら、まだ、それを具体的に総合発展計画の中で組み込みながら修繕をどうするんだ、大規模修繕をどうするんだということをつなげて、将来的な岩城地域の観光ビジョンはどう捉えるんだというような位置づけまでの組み立てが出来ていないのが現実です。ただ、先ほど D 委員さんから高速の話がありましたけれども、高速は実は我々があの頃、松亀インターを作らなければいけないという作文の一つの大きな中に天鷲を捉えて国交省に持って行って提案して、これを採択してもらった経緯があります。ここには天鷲があるし、道川には道川の漁港もあるし、ひいては松ヶ崎との接点でもあるのでここにインターが必要なんだよという国交省に持って行った提言があった。それが今はもしかすれば西目の道の駅にとっては裏目に出ちゃった部分もあるのかもしれませんが、ですから、そこを今提言をお願いしたいなという、皆さんの知恵を絞っていただいて、いろんなソフト事業の中からきっかけを見出していただく、それを持続的に続けていただく中で、必ず、やはりこういったものが究極的には必要になるんだというような形のものが、もっと上のレベルの段階、というのは議会であったり、それから市長の考え方であったりとか、そういった部分につながる糸口にきつとなるというふうに私は思います。そういった意味でのスタートラインに立っているんだという捉え方をさせていただいてどうかソフト事業を大きな大きな将来目標を見据えながらの一步一步のスタートだという形で、百万・百万・百万をドン・ドン・ドンと使うのは簡単かもしれませんが、おっしゃったようにそれぞれいろんなアイディアが出てくるだろうし、それらが少しずつ結びつきが上手にストーリーが出来るような形のこの地域の大きな提案書に結びつけていただくような、総合支所の方はご難儀でしょうけれども、していただければと思います。そのためには、紙に限りはございませんので、10 枚でも 20 枚でも出していただきたいと各地域でお願いして参ってきているものですから、いろいろな領域からご提案いただく中から、皆さんがご協議された中で取捨選択されたものが上がってくるだろうと思っていますので。

◇ 議長

例えば、花いっぱい運動であるとか、緑化事業とかも危うくなってきましたが、あと数万円あればこの先継続していける、地域づくりのための芽となるというようなものもいろいろとあると思います。こんな程度のことじゃあなんて言わずに、300 万円を上限とするということは3万円なら 100 件、10 万円でも数十件、相当なことが出来るということですから、そういうことも念頭に置いていかげでしょうか。

○ B 委員

今大事なことは、より具体的な形で住民の方々に説明することだと思うんです。猿田理事さんから説明がありましたが、このことについては一所懸命勉強する、がんばってということでしたが、行政が出来ることはこうなんだ、それに対して住民に協力してもらうのは何なんだというを一言言っていただければと思ったんですけれども、みんなのアイディアを出しながらやって欲しいということを最後にまとめましたけれども、今こそ地域の住民たちがコミュニティ活動を通して地域を活性化していくためにはということで、今、D 委員さん、C 委員さんから提案があったんです。こういうことを受け入れて行動するというのが今一番大事なことでなかろうかと思うんです。ということであれば、このようなまちづくりの計画は大変に良いことです。何とか有効にこれを活かして、活性化を図るということをやりたいなと思います。そのために、今日お集まりの方々はほとんどそれぞれの地域・団体の代表ですから、そういう人がそれぞれの組織の中で話し合いながら、やはり、こういうような状況だから私たちは一人ひとり参加してまちづくりをするのだということを自覚してもらうということが大事であるということが一つです。また、先ほどの D 委員さんからの提案は大賛成です。このことについては私も以前から、やらなければ、やって欲しいと思いながらも途中で挫折したりとなかなかやれずにきましたが、実行委員会なりを作りひと踏ん張りして進めていくということに賛成意見と併せて、今言ったように委員の方々のそれぞれ組織している人がたの強力と理解を得るということを進めていっていただくことをお願いします。

◇ 議長

先ほど渡部主幹からお話がありましたけれども、要綱の裏面のフローの(ア)①地域協議会委員からの提案、ここが一番主なところでして、皆さん地域協議会委員でございますので、皆さんからの提案、この提案書様式に先ほどからいろいろお話しされていたことを一つひとつの具体的な例として頭に捉えながら、皆さんの提案を宜しくお願いします。今月いっぱいということで、提案書様式は数に限りはないということですので、積極的に提案をお願いしたいと思います。他に、この地域づくり推進事業に関して気がついたことなど何かありませんか？

○ H 委員

先ほど、亀田は閑古鳥が鳴いている云々なんていう話も出たわけなんですけど、結構天鷲村に大型バスが入っているんですよ。でも、その人たちが亀田を知らないで帰ってしまう。天鷲村の中を見て云々と言いますけども、亀田には県の文化財になっているものが二つもあるんですよ。龍門寺の御霊屋、妙慶寺にもシーボルトのほかに顕姓院のもの、こういうものを何にも知らないで、何かの資料として読んでいるかもしれませんが、見ないで帰ってしまう。これを街並みを見て歩くというような観光指導と言いますか、そういうふうな、天鷲村を訪れた観光客が亀田を知らないで帰ってしまう、あの街にもう一度行ってみたいなあという気持ちを起させるには、そういう何かにか観光客に訴えることが必要ではないかなと思います。二年ほど前に矢島の仲間たちを亀田に招いての交流があったんですが、その時に龍門寺の御霊屋を見せたところ、本当に喜んで「こんなのは見たことがない。秋田の天徳寺の佐竹家に匹敵するだけの御霊屋だ」と本当に喜んで帰っていきました。そういうことを天鷲村だけでなく、担当もさまざまあると思いますが、そういうものを説明するためには、前に亀田に来る観光客に案内・ガイドしようということが市の方からあって、そのための勉強会のようなものがあったわけなんですけれども、その後、ガイド役も何人か登録されておったということですが、何も出来な

いずっと今まで来ている状況です。そういうことでしなければ、亀田の地に来る観光客は今後減ることはあっても増えることはないでしょう。これは亀田に限ったことではないでしょうけれども、市民がいかに関わっていくかということを観光振興の中に組み入れていかなければいけないんじゃないかなあと思います。それから、もう一つ、先ほど会長が子どもの交流について触れられましたが、私今年の2月に山深い東成瀬を訪ねました。雪深い中を初めて東成瀬に足を踏み入れて、何も知らないで泊まる場所も決めないで行ったわけなんです、十文字駅からバスを案内されて、そこから乗った一人に東成瀬に帰るという女の子がいました。学校はどこに行っていますか？と訊ねたところ、湯沢の方に行っているということで高校生でした。そのコに私が東成瀬を訪ねる目的を話しているうちに話合っている中で、かつて海の子山の子の話をお互いにし合いました。彼女は、海の子山の子ども交流事業が無くなる2年くらい前に岩城の子どもたちと交流しているんですね。そういうわけで、私は思いも寄らない親切を初めての土地に行って受けたということは、やはり海の子山の子のその交流がいろいろな面で活きているんだなあと感じました。名前も聞かないでしまいました、私の頭の中にずっと残っております。それともう一つは、いわき市といわきおどりのお祭りの交流の中でうちの方からも何人かの踊り手が参加して交流してきましたが、ここ数年、撮ってきた写真などを亀田小学校の子どもたちに見せて、こういうことが岩城地区の大きなイベントになっているんだよというようなことを教えて、行きたければ私が連れて行ってもいいよというようなことを豪語してしまったところ、後で校長先生から「学校に関わることにそう簡単に校長として OK するわけにはいかない。何か別な方法を考えてください」というような話になったんですが、今年のいわきおどりに同じようにいわき市と交流のある宮城県延岡市から子どもたちが来ていました。先生が連れてきたのか保護者が連れてきたのか分かりませんが一つの集団で整然として、いわき市の子どもたちに交じって踊っていました。そういうことへの、全くの負担無しにただで連れていくわけにはいかない、保護者には若干の負担はしてもらわなければいけないということは理解していますが、少しくらいの助成があったらおそらく行けるんじゃないかなあと思ったりしています。

◇ 議長

皆さんの心の中に、思い出としていろいろなものが去来するものだと言った今のお話を聞いていると思います。旧岩城町として長くいろいろな地域の文化・伝統・イベントというふうなこともありました。この度合併5年目として新しく地域のまちづくり推進事業ということで1地域 300 万円を上限とするというふうな市の方の配慮でございます。これを何とか利用しながら今まで出来なかった地域づくりというものをこれからまた進めていくんだという形で皆さんの思いを提案書にいろいろな形で提案していただければと思います。皆さんの提案書をお待ちするということで、今日はこれでピリオドを打ちます。その他、何かございますか？

○ A 委員

猿田理事さんにお話ししたいんですけども、今朝の新聞を見ると、県営射撃場の鉛対策について載っておりました。地元からいろいろと陳情なり要請がいつてああいう事態になっているんだと思うんですけども、あれを見ると8億もかかる。ですから、全面的に土の入れ換えとか、あそこを射撃場として今後も使っていくとすればそれなりの対応策を施すためには8億もかかる、そういうことなんですよ。私も鉛公害という話は聞いているんだけど、あれをやるためには、それなりに地元の人たちは不安というか疑問視していることが多いと思うんですよ。由利本荘市としては、県営の施設だ

から県に任せきりなのか、地域の農業、いわゆる稲作関係から振興問題まで、それなりの対応をして、市は今後それなりに積極的に対応していった地域不安の解消に努めてもらいたいと思います。それが一つです。それと、私は毎年人間ドックをやっているんですが、市からの助成金が僅かながら減額してくるんですよね。言うなれば財政が無いから減額するんだと、こういうことなんですけれども、私は今の世の中、政権も代わって、コンクリートから人づくりと言われていたということを聞くとましてや由利本荘市は高齢者が多い。そういう面で常日頃の健康管理に対して積極的に努めることが医療費の抑制にもつながる、ということですから、そういう手当を積極的に行っていく必要があると思うんです。これは高齢者対策にもつながります。私は先だって、本荘の街を久しぶりに見たんだけども区画整理で幅広い道路が出来たり、複合文化施設ですか、それと由利橋、土音が聞こえるのは本荘地域だけで、地域格差としか我々は思わざるをえないように賑やかに今本荘の街が変わろうとしておりますけれども、やはり、周辺地域のことも十分考慮に入れながらやってもらわないと、私は周辺の住民はそれなりに不平不満が籠るのではないかと思いますので、そういう面も考慮してこれからはそういう事業展開をしていただきたい。私は常に思うんだけど、福祉と健康というものに対する考え方が合併前とは大分変わったなあと思います。合併協でいろいろとやって、そのためにやれないのか分かりませんが、やはりこういう健康面をもう少し手厚くしていくような政策を施してもらいたいと考えておりますので宜しくお願いします。

● 猿田理事

A 委員さんからお話がありましており、今朝の新聞に、果たして8億～9億近くもかかるんだぞというような県の試算がありましたという報告があったという記事が載っていましたんで、これを抜本的に県でやるのかということ、クレ協では是非ともやらなければならないんだというコメントもあったようですし、一方地元ではこのままでは困るんだということで、ただ、これは私の印象なんですけれども、この問題は十分全市的にみんなが認識はしているんですけれども、公の場で由利本荘市の一つのテーマとしてですね、岩城では十分に議論されているのは分かるんですけれども、由利本荘市としてこれは本当に困った問題だから市として県に一体的に取り組んでいただけるように由利本荘市として要請をしなければいけないという踏み込みがちょっと今までは足りなかったと思うんです。ですからおっしゃるとおりで、放ったらかしには出来ない問題でしょうし、金がかかる問題でしょうけれども是非とも踏み込んでいかなければいけない問題だと認識しております。それから、近隣の皆様のご心配は察するに余りありますので、今日帰りましたら市長にもこういう意見がありましたということ伝えたいと思いますし、この取り組みについて何かのアクションが出来るように皆で知恵を絞りたいと思います。

○ A 委員

ああいうふうに出ると、寝た子を起されたようになって、やはり地域の方が不安がるんだよね。ですから、そういう面でやはり市としても真剣に取り組んでもらいたい。

● 猿田理事

むしろ、心配されるのは「こんなに金がかかるんなら出来るわけない」という筋道というか、レールが敷かれそうな気がしないでもないですから、背景にそんなことがあったら大変なことです。そんなことが無いように、手当てが出来るように、アクションが起せるようにちゃんと伝えたいと思います。

それから、ドックの助成に関しては、かつてはどうで、今はどうだというようなことを調べて、これからの方針はどうなんだということも合わせて担当の方から聞いて、間接的にはありますけれどもお答え出来るように帰ってからしたいと思います。

○ A 委員

私は端的にドックと言ったんだけど、いわゆる市民の健康の問題についての取り組みが相当、濃淡からいうと薄くなって、我々岩城町時代から見るとね。これだけ高齢化になって毎日医者通いをしているんだから、やはり医療費が高くなるということはそれぞれの健康管理がきちんと行きわたっておれば安く出来上がるんで、医療費の適正化とよく言いますけれども、それは各保険者がやるんだから市の行政としてはそんなにやる必要はないというような考え方は間違っていると思うんですよね。国保であろうが何であろうが、金がかかるということは究極は市の一般会計から金を出さざるを得なくなるんだから、やはり普通のそういう行いが大事で大切なことだと思うから。敢えてドックと申しましたが、全体的なことでは私は言っているんです。

● 猿田理事

ものの考え方として切り捨てがあってはいけないというお考えでしょうから、そういったこともきちんとした議論がありましたということも伝えながら、これからの方向も見直していただきたいという申し入れがあったというもお伝えしたいと思います。それから、本荘地域の事業展開についてでありますが決して私が本荘に住んでいるからとか、去年まで建設部にいたからというようなものの考え方で申し上げるわけではないので前もってお断りしておきますけれども、文化複合に関しては、確かに今ああいった土音がどんどん聞こえてきていますし、目標では来年度いっぱいくらいで建物がほぼ完成する予定で契約が出来ていますし、工事が進められています。ただ、これは合併時に全市一体となった形での取り組みがどうなんだろうということ、これは是非一体事業として取り組み、本荘地域に確かに建てられておりますけれども、岩城地域から、鳥海地域から全ての地域からいろいろな協議会の委員の皆様方に、一般市民の皆さん方にご参加をいただいて、折角やるんだからみんな市民が等しく喜んでいただけるような施設でありたいねということも含めて、若者からお年寄りまで、それから文化複合でありますから図書館機能も県内でも最も充実したものにして欲しいという意見もあったものですから、それ相応のグレードの高い建物に今設計が終って工事にかかっているところであります。従って、金が確かにかかっていることは間違いのないことでありますし、工事場所が本荘地域であることも間違いのないことではありますけれども、そういった観点で全員で、由利本荘市全員、或いは県内・県外に誇れる施設として、由利本荘市の全体の施設であるんだというご認識をいただきたいというふうに、弁解では決していない、そういう約束で建てた施設でありますので、そういったご認識を、是非とも再認識をしていただきたいと思います。由利橋に関しては、あれは本荘地域の事業です。合併の時には是非一体事業としての取り組みをお願いしたんですけれども多勢に無勢で、日本荘地域の事業だということで却下された経緯があります。従って、あれは本荘地域の予算配分の枠組み中で、あれでも相当な経費がかかる事業ではありますけれども、24年度末を目指して架け替えをする予定で今進めております。政権も代わりましたし、ガソリン税の見直し等々もありましたんで、先行きが不透明な部分も由利橋に関しては若干あります。ただ、工事が出来ていないもの、着手していないものは別として、全部契約も終わっておりますので、速やかに安心できるような環境になって欲しいなと思っておりますし、何としてもあれは単に本荘の中心部と石脇地域をつなぐための橋とい

うようなことだけではなくて、いわゆる文化と文化の交流でもありますし、本荘地域以外の方々にもあの橋があ道路が無くては生活に支障をきたすということが現実にございますものですから、交通に関してもあれが無ければ支障をきたすということが現実にもありますので、これもいろいろな地域の協議会の皆様方にも、これは本荘地域の事業ではありますけれどもご説明をして、2～3年前からご説明をしてご理解をいただくようにがんばってはきたつもりではおりますが、まだ私どもの説明が足りない部分がありましたならば甘んじてご批判は受けなければならないと思います。区画整理は平成22年度末を目標にしておりましたけれども、今言いましたように、由利橋が24年度まで工事がかかりますので、それとすり合わせが必要ですので、区画整理事業は2年間おそらく延伸になると思います。延伸になるから事業費がかかり増しになるということではありません。今年度末でほぼ建物の移転保証は終了するし、22年度以降からは由利橋通り線の道路の改良工事に入るので、今のガス水道局のポイントから由利橋を通して石脇の新町の突き当たりまで一直線で道路として橋も含めて行けるという構想でもって描いた橋でございますので、お分かりと思いますが、橋の本荘寄りの方には看板も着けておりますので、こういう絵柄のこういったデザインの橋になるのかということは既に皆様ご承知だと思いますけれども、ああいう形になります。これも文化と文化の架け橋という意味合いを私どもも常に持っておりますのでそれこそ是非ご理解をいただきたいと思います。金のかかっていることが本荘に集中しているというご指摘は甘んじて受けますけれども、事情はそういった事情がございますので、必ずしも本荘地域に住んでいる人間だけが利益を被るというような建設工事ではございませんので、何とかご理解をしていただきたいと思います。

○ A 委員

私は、由利橋も、文化施設も、区画整理もやらなければならないという認識はあるんです。ただね、もっと早くやるべきでなかったかと私は思うんですよ。合併してすぐ、特例債を使ってやっているでしょう。そういう面からいくと事業の優先度から言うとトップランクになると思うんですよ。ところが、一番トップにはケーブルテレビを持ってきたんじゃないですか。そして今加入率が52. なんぼとか言っている。そして今年やろうとしている本荘地域は40%も加入するかどうか分からない状態だと私は聞いているんです。全体で50何パーセントしか入らないようなケーブルテレビをやるよりも長年の市民の要望の熱かった由利橋とか、或いは組合病院跡地の再開発とか、或いは区画整理とか、そういうものは岩城に居るから本荘のことは知らないというようなことじゃなくて、相当緊急で優先度が高いはずであったと思うんです。こういうものを最初にやるのが大事なんじゃないかなと思うんです。今、起債の公債比率がかなり高くなって、私はこのままだと財政破綻するんじゃないかと危惧する一人です。ですから、もう少し事業を選択して、優先度をもう少し洗い直してやってもらわないと、市民が何で破綻したのかとならないようにしてもらいたい。特にケーブルテレビなんかはあれは失敗だと思っている一人です。

● 猿田理事

ご意見、お気持ちは十分承知いたしました。失敗かどうかというのはこれからの運用次第でありまして、確かにケーブルテレビには89億円くらいの金が投資されております。その大半が合併特例債になります。私が記憶している中で、由利本荘市の代表的な三つの工事の中で合併特例債を充てているのはまちづくり交付金とのミックスでやっているのが文化複合施設でありまして、由利橋・区画整理については特例債対応になっていません。というのは、あれは全市一体事業ではないからであり

ます。本荘地域の事業なんだよという認識で合併協議が組まれたからでありまして、合併特例債の適用はなっていません。これは、我々旧本荘市の主張は残念だったなと思っていますけれどもそれでも地域事業としてこれだけは成さなければならないということでやったものであります。加入率の問題は、今一番苦しんでいるのは担当課でありますし担当部署の人間が苦しんでおります。加入率の問題を云々されること。確かにメリットは何だったということはありません。いわゆる難視聴地域にあってはケーブルテレビに入って難視聴が解消されるということで非常にメリットがあるということで即入っていただけたという経緯がありますが、それ以外の地域の方にとってはメリットがなかなか見出せない、単純にここに来てTBS系列が見れるようになりますよということを一所懸命PRしたつもりではありますけれども、TBSもBSではそこそこ別番組とは言いながらもTBS系列が映るような時代にどんどん変化しておりますので、なかなかそれもセールスポイントの決定版としては受け留めてもらえなかったという実態があります。従って旧本荘地域にあっても、間もなく工事に入りますけれども申し込みの頻度は非常に少ないというのが現実です。少なくとも役所の人間は全部加入しろと言っているわけですがそれでも果たしてどうなのかということもありますけれども、おっしゃいましたように失敗かどうかということに関しましては運用の仕方を十分に見極めていただいて、こういうことがあるとすればやはり加入すべきだというようなメリットをどんどん訴えることが出来るような番組制作をしなければうまくないとふうに、50%あればどうなんだということで、高いか低いかにということになれば、それは決して高くはないとは思いますが、これからもっともっと努力していかなければならないと思ひ、投資してしまった金は、今年度で工事は終わりですので21年度が最終年度で本荘地域が工事が終了するわけですから、その運用を一所懸命知恵を絞っていかねければと思っております。このことについてはいろいろな地域で同じようなご意見を頂戴いたしますので、担当も骨身にしみておりますが、こういったご意見があったということは担当に率直に伝えたいと思います。

○ D 委員

先日、支所にある申請をしに来たんですけれども、支所の方では対応出来ないということで本庁の方と連絡をとって、説明を聞きたいということで出向いていったんですけれども、出来れば職員のスキルアップも兼ねまして、本庁の担当の方が支所においでいただいて支所の窓口職員の方と一緒に対応していただければ非常に良いのではないかと思います。どうでしょうか？

● 鈴木支所長

今、そういうことがあったということをはかかって驚いているところでありますが、何れ窓口で処理できるような体制を作るということが支所としての大原則だと思いますので、今申されましたことを踏まえて、本庁の方ともスキルアップについて研究・対応していきたいと思ひます。

○ I 委員

先ほどA委員さんが申されました射撃場の鉛の件で、鉛は今や水道のパイプにも使われておりませんというのが現状です。つまり、鉛を使った場合、排水そのものが大事だと思うんで、射撃場に周りから入ることは出来ないと思うんで、我々にとって一番大事なのは、そこから出て行く排水を定期的に測定するということを提案したいと思ひます。鉛というものは考えてみても害がありますし、テレビの報道でもかなりの量の鉛という話が出ていますので、排水測定、CODなのかDODなのか私も詳しくは分かりませんが、定期的な測定は是非とも考えてもらいたいと思ひます。

● 打矢市民課長

当然、地域住民の方、鉛対策特別委員会の方がおられるわけですが、一番気になさっているのは、あそこから出てくる排水でございます。汚染されているかどうか。これにつきましては管理者は県でございますけれども、県の責任に於いて水質検査を実施しております。水質検査をする時は地元の特別委員会の人たちも立ち会って、問題ないかどうかにつきましても立ち会っております。水質については今のところ支障はないということですが、先ほど A 委員さんからのご質問にもございましたように、今のところ特別委員会の人たちが県の方と折衝と言いますか、話し合いを進めているわけですが、行政といたしましても、これまで以上に地元の方々と一緒に県の方と交渉して、安全な施設に、とりあえず今残っている鉛、汚染された土壌を早い時期に全面回収していただくということを強く知事の方に要望して、知事からも手応えのある回答を頂いております。ご質問の水質検査につきましては、繰り返しますが、県の方で責任を持って実施しております。

◇ 議長

他にございませんか。無ければ事務局より報告事項があるそうですので、事務局報告願います。

● 渡部主幹より、以下の2点について報告

- ①桜の植栽について…ふるさとさくら基金を活用した桜の植樹を雪溶け後の3月に実施したい。
植栽場所は新鶴潟公園を予定している。
- ②地域懇談会の開催について…毎年恒例の地域懇談会を6ブロックで11月24日から開催する。
今回は小学校の統合問題に焦点を絞って意見交換したい。

◇ 議長

以上で、本日予定しておりました報告・説明・協議は全て終了いたしました。これをもちまして、第2回目の地域協議会を終了いたします。散会いたします。ご苦労さまでした。

【午後4時15分閉会】
